

1. 申請者情報

都道府県名	愛知県	市区町村等名	豊田市	地方公共団体コード	23211
-------	-----	--------	-----	-----------	-------

2. 交付対象事業の名称等

単独／広域／ビジョン	交付対象事業の名称						
単独	ふじの回廊周辺整備を核とした藤岡地区活性化事業						
主となる事業分野 (入力必須)	事業分野 (大項目)	地域産業支援関連事業	事業分野 (詳細)	地域産業の付加価値向上や販路開拓等を支援し、地域経済の維持及び拡大を目指す取組及びこれに関連する周辺的な取組	事業分野	○	
ソフト事業実施期間	2028 年 4 月 1 日 から 2029 年 3 月 31 日 まで					} 入力必須 (実施事業のみ)	
拠点整備事業実施期間	2026 年 4 月 1 日 から 2029 年 3 月 31 日 まで						
インフラ整備事業実施期間	年 月 日 から 年 月 日 まで						

No.	都道府県名	市区町村等名	地方公共 団体コード	【ソフト事業】 対象事業経費	【ソフト事業】 申請額(左記の1/2)	【拠点整備事業】 対象事業経費	【拠点整備事業】 申請額(左記の1/2)	【インフラ整備事業】 対象事業経費	【インフラ整備事業】 申請額
1	愛知県	豊田市	23211			79,239千円	39,619千円		
計				0千円	0千円	79,239千円	39,619千円	0千円	0千円

3. 交付対象事業の背景・概要

A. 地方創生として目指す将来像(交付対象事業の背景)

【背景】
豊田市藤岡地区は、平成の大合併により西加茂郡藤岡町から豊田市藤岡地区として平成17年4月より新たにスタートした。昨今、豊田市の人口は減少に転じているが、藤岡地区においても同様の動きがみられる。この人口減少は地域経済の停滞を招く恐れがあり、対応策が急務となっている。
一方、ふじおかのまちづくりについては、今回申請の「ふじの回廊」は、旧藤岡町時代に策定された第3次藤岡町総合計画「平成の森構想」の一つとして位置付けられ、新たな観光資源を開発しまちづくりにつなげるために整備が行われた(この事業は平成6年、平成7年には愛知県ふるさとづくり事業に採択されている)。また、藤岡地区のシンボルである「ふじの花」にちなみ毎月22日は「ふじの日」として制定され、「ふじ色」にちなんだ統一ポロシャツの着用を進めたり当日はイベントの開催など、行政、商工会、観光協会、学校、そして市民が共働となってまちづくりを進めてきた。その中でも、ふじの花が咲き誇る「ふじの回廊」は、春には約2万7千人もの観光客が訪れる大きなイベントが行われ、特に最近では地域のこども達がイベントに積極的に参加するなど、まちづくりや人づくりにおいて重要な役割を担ってきた。
しかし、ふじの回廊は整備開始より30年以上が経過し、樹木の老朽化や駐車場不足など、施設の課題が浮かび上がってきている。さらに、地域からは新たな散策路の開拓など観光施設としての魅力向上と、藤岡地区内での他の観光施設との回遊性を高め地区全体の魅力向上を求める声が大きくなっている。
このような中、令和7年3月に策定された「豊田市観光実践計画2025～2029」の「基本的な観光の考え方」では「観光は『まちづくり』の手段」と、「目指す姿」として「連綿たる歴史と未来の技術が紡ぐ、多様な幸せを観光で実現するまち」と定義しており、同計画内の「観光振興に向けた取組の柱」の一つとして「受入環境の整備」をあげ、その具体的な取組の一つとして「ふじの回廊周辺環境整備事業」があげられている。
このように、ふじの回廊周辺の活性化及び地域全体の観光入込客数増加は、人口減少が加速し始めている藤岡地区のまちづくり、人づくりそして経済効果において非常に重要な役割が期待されている。

【目指すべき将来像】
ふじの回廊周辺の豊かな自然を生かし、他の観光施設との回遊性を高め魅力的な地域とすることで、藤岡地区の観光全体の底上げを行い交流人口の増加を目指す。このためには藤岡地区の認知度向上とともつながっているため、藤岡地区観光情報が集積されたホームページの閲覧数向上を目指す。これらの取組が行われることにより、地域の活性化につながり、藤岡地区の事業所経営への良い影響が期待される。

B. 地方創生の実現における構造的な課題

前述のとおり、藤岡地区は既に人口減少に転じており、地域住民も強い危機感を持っている。このことは地域住民の代表者により構成された「地域会議」にて令和7年10月に「まちづくりビジョン」が策定された際に「藤岡の人口維持」を課題としてあげたことから伺われる(なお地域会議委員は非常勤特別職の地方公務員)。
人口減少は、自ずと藤岡地区住民の暮らしの機能を維持していくうえで大きな不安を与えており、ふじの回廊周辺整備を核とした藤岡地域の魅力向上は地域の課題解決策として大いに期待される。
なお、ふじの回廊の環境整備に際して具体的な課題は以下のとおりである。

- 【課題①: 魅力ある自然景観の保全・活用】
- ・ふじの季節である春は来客が見込まれるものの、それ以外の季節での来客が乏しい。
 - ・ふじが動物からの攻撃を受けやすいエリアがあり、守っていく必要が生じている。
- 【課題②: 来訪しやすくなる環境の創出】
- ・ふじの季節には慢性的な駐車場不足が発生している。
 - ・来訪者が気軽に立ち寄れる休憩スペースやベンチ、また写真映えのするフォトスポットが無い。
 - ・案内看板を最新の内容に合っていない。また板面が見づらくサインとしての機能が乏しい。
- 【課題③: 集客力向上のための賑わいづくり】
- ・春に行われる「ふじまつり」以外に集客を見込める事業がない。ふじの回廊の自然を生かした、春以外にも人を呼び込める事業が必要。

C. 交付対象事業の概要

(交付対象事業がどのように構造的な課題の解決に寄与するのが分かるように記載すること。)

実施する事業の内容

- 【課題①: 魅力ある自然景観の保全・活用に寄与】
- ・秋の紅葉等が楽しめる新散策路「秋の小径」を整備(愛知県補助金)するので、整備された小径にモミジやシンボルツリーの植栽、ベンチの設置などを行う。
 - ・ふじが動物からの攻撃が心配されるエリアに動物防護柵を設置する。
- 【課題②: 来訪しやすくなる環境の創出に寄与】
- ・ふじの回廊近隣に位置している旧御作こども園(閉園済み)の土地を利用し、新たに駐車場を整備する。
 - ・来訪者が気軽に立ち寄れるベンチや、写真映えするフォトスポットを整備する。
 - ・既存の案内看板を、最新の内容でユニバーサルデザインを採用した、誰もが見やすくなりやすいものへと変更する。
- 【課題③: 集客力向上のための賑わいづくりに寄与】
- ・関係人口を増やすため、来訪者が参加して楽しめる事業(ふじ剪定教室、地域特産物販売力強化支援、プレ・ウォーキング大会など)を企画・実施する。

D. 事業分野(大項目)のいずれかを選択した理由 (地域未来戦略における3分類(戦略産業クラスター関連事業／地域産業クラスター関連事業／地域産業支援関連事業)との関連性)

ふじの回廊には、行政だけでなく観光協会、小中学校、高等学校、そして地域住民がイベント運営者や施設の維持・管理などにかかわっている。今後、前述の取組により利用者が増加することは、自ずと関係者のモチベーション向上、そして地域の活性化、地域住民の誇りや郷土愛の醸成につながる。また、イベントには他の観光施設との連携も行っているため、利用者の増加は地域経済の活性化、ひいては地域産業の持続化も期待される。そしてこのことは、人口流出の抑制、特に働く世代の流出抑制につながる事が期待される。このように、ふじの回廊整備は経済的な面も含め藤岡地域の活性化に大きく寄与することが見込まれる。

4. 優先採択テーマへの該当

優先採択テーマ	申請なし
---------	------

5. 他政策・施策等との連携状況

< 中心市街地活性化に係る事業 >

概要	
----	--

< 特区制度を活用した、又は活用しようとする事業 >

特例措置活用		提案		事前相談	
特例措置・提案・事前相談名					
特区指定・認定		特区種別①		特区種別②	特区種別③
概要					

< 対日直接投資の誘致を支援する取組につながる事業 >

概要	
----	--

< 地域のデジタル人材への教育のための事業 >

概要	
----	--

< スタートアップ支援に係る取組 >

概要	
----	--

6. 他の政策・施策に基づく取組と連携する事業における弾力措置の対象となる事業

連携する取組		所管省庁への事前相談
主務大臣による認定を受けた政策・施策間連携に関する事業計画の名称		
地域未来投資促進法の「基本計画」に明記される事業のうち、個別事業者への支援が含まれる場合のみ記載	基本計画に適合するとして承認された地域経済牽引事業計画の名称	
	主務大臣の承認を得られた連携支援計画の名称	
地域未来投資促進法の「基本計画」に明記される事業のうち、設備投資等の支援を行う場合のみ経済波及効果を記載		

7. 対象外事業の除外

(1)	ソフト事業及び拠点整備事業において、他の国庫補助金等の対象となる部分や特別交付税等の他の財政上の支援を受けている経費を除外しているか。	○
(2)	ソフト事業及び拠点整備事業において、従前から一般財源により実施されている事業経費や経常的な経費等の財源振替、地方公共団体が実施する福祉事業等、本来一般財源で措置すべき経費を除外しているか。	○
(3)	ソフト事業及び拠点整備事業において、提案、企画・立案に関するコンサルティング経費を除外しているか。	○

8. 交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)

[illegible]

9. 自立性

取組内容 (事業を進めていく中で、事業推進主体が自立していくことにより、将来的に本交付金に頼らずに、事業として継続していくことが可能となる事業であること。)							
拠点整備後は、基本的に市の予算で維持管理を行っていく。ソフト事業として関係人口、交流人口増加のため来場者参加イベント等を行い、参加費用を徴収する。また、駐車場料金の設定徴収についても検討し、自主財源の確保についてめていく。							
自主財源の種類		自主財源の内容					
【A】	一般財源(市)	本事業実施のための委託費用等					
【B】	イベント等参加費用	講習会、イベント等の参加者実費負担					
【C】	駐車料金	近い将来、近隣の御作小学校閉校の可能性があり、一体的整備により駐車料金の設定見込み					
【D】							
【E】							
各年度における 自主財源見込額	事業開始前 (現時点)	2026年度 (1年目)	2027年度 (2年目)	2028年度 (3年目)	2029年度 (4年目)	2030年度 (5年目)	2031年度 (6年目)
【A】	7,302千円	39,620千円	1,500千円	6,740千円	1,440千円		
【B】	0千円	0千円	0千円	60千円	60千円		
【C】	0千円	0千円	0千円	0千円			
【D】							
【E】							
合計	7,302千円	39,620千円	1,500千円	6,800千円	1,500千円	0千円	0千円
交付対象事業経費		79,239千円	3,000千円	13,600千円	0千円	0千円	
うちソフト事業費				600千円	0千円	0千円	
うち拠点整備事業費		79,239千円	3,000千円	13,000千円	0千円	0千円	
総事業費	7,032千円	79,239千円	15,770千円	35,600千円	16,500千円	0千円	0千円

10. 地域の多様な主体の参画

地方公共団体名	分類	産	官	学	学	学	住民	住民
愛知県豊田市	主体名	藤岡観光協会	豊田市	愛知県立加茂高等学校	豊田市立藤岡中学校	豊田市立御作小学校	自治区	市民活動団体
	主な役割、意見及び改善方策への反映	【役割】藤岡の観光誘客事業の中心的存在であり、広いネットワークと豊富な事業経験を活かし集客事業を実施。 【意見・改善方策】最も現場に近い組織として、事業ニーズを事業改善に繋げる。	【役割】市事業の実施及び全体調整を実施。 【意見・改善方策】ふじの回廊周辺活性化整備構想等、市施策の方針の反映と、事業実施する中で生まれる方向転換等を柔軟に検討し、目標達成を目指す。	【役割】イベント開催時の実施協力、生徒・保護者への事業PR協力等。 【意見・改善方策】学生・生徒の関り方に関する意見、改善方法の提案。	【役割】イベント開催時の実施協力、生徒・保護者への事業PR協力等。 【意見・改善方策】学生・生徒の関り方に関する意見、改善方法の提案。	【役割】イベント開催時の実施協力、生徒・保護者への事業PR協力等。 【意見・改善方策】学生・生徒の関り方に関する意見、改善方法の提案。	【役割】地域住民の総意をまとめ、市施策への住民理解・協力を進める。 【意見・改善方策】住民からの意見等情報収集及び改善方法の提案。	【役割】地域住民により組織された市民活動団体（2団体）が、市との共働により草刈り等の環境整備を行う。 【意見・改善方策】現場の状況を踏まえた市への情報提供及び改善方法の提案。

11. 交付対象事業の効果検証及び事業内容の見直しの方法、時期及び体制

地方公共団体名	外部組織による検証					
	検証時期			検証方法	外部組織の参画者	検証結果の公表方法
愛知県豊田市	毎年度	3	月	藤岡観光協会定例会にて意見徴収を行う。	豊田市、藤岡観光協会	検証結果は速やかに市HPで公表する。

12. 地方版総合戦略の策定状況

地方公共団体名	地方版総合戦略の計画期間・基本目標																											
	現行の地方版総合戦略												次期地方版総合戦略															
愛知県豊田市	2025	年	4	月	1	日	から	2030	年	3	月	31	日	まで		年		月		日	から		年		月		日	まで
	豊田市まち・ひと・しごと創生総合戦略2030 基本目標2人の流れ・にぎわい・地域への愛着づくり																											

13. 地域再生計画の名称等

地方公共団体名	地域再生計画の名称									
愛知県豊田市	第2期豊田市まち・ひと・しごと創生推進交付金計画									
	地域再生計画の区域	愛知県豊田市の全域								
	計画期間	地域再生計画の認定の日 から 2030 年 3 月 31 日 まで								

(別紙1-1) ソフト事業経費内訳

2026.1.27

	2028年度 (1年目)	2029年度 (2年目)	2030年度 (3年目)	2031年度 (4年目)	2032年度 (5年目)	合計
交付対象事業経費【①】	600千円	0千円	0千円	0千円	0千円	600千円
交付対象事業における ソフト事業経費【②】	600千円	0千円	0千円	0千円	0千円	600千円
交付対象事業における 施設整備・事業設備・備品 経費【③】	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
交付対象事業における施 設整備・事業設備・備品経 費比率【③/①】	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

<2028年度(1年目)>				ソフト事業1年目に実施する全事業の中で、最も早い支出負担行為日(契約日、交付決定日等)				2028	年	4	月	1	日
全事業期間における本年の位置付け				施設整備(後期)									
事業開始時期			事業終了時期		予算計上時期①		予算種別①	予算計上時期②		予算種別②	予算計上時期③		予算種別③
2028 年 4 月			2029 年 3 月		2027 年 10 月		当初	年 月			年 月		
交付対象事業経費				600千円									
交付対象事業におけるソフト事業経費								要素事業数		1	計	600千円	
1	市民参加型事業委託料							関連するKPI		①～⑥		600千円	
	ふじの回廊及び周辺施設を舞台に市民参加型事業の実施やふじをテーマにした特産品販売の強化を支援することで、ふじ及びふじの回廊の魅力を周知するとともに利用者数の向上、地域経済の活性化を目指す。 ・ふじ剪定教室委託:100千円(人件費70千円、消耗品費30千円)、特産品販売強化支援:300千円(印刷製本費250千円、消耗品費50千円)、プレ・ウォーキング大会委託:200千円(人件費70千円、賃借料100千円、消耗品30千円)												
交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費								要素事業数			計	0千円	

1. 交付対象施設の概要

(1) 施設の名称及び場所

施設の名称	ふじの回廊
施設の場所	愛知県豊田市御作町地内

(2-1) 施設の所有者

種類	その他	名称	市民(土地所有者)、豊田市
出資比率	0.0%		

(2-2) 施設の整備主体

整備主体	豊田市
------	-----

(2-3) 民間事業者等(公共的団体等を除く)が所有主体の場合 ※該当がある場合

該当	①	民間事業者等(公共的団体等を除く)が所有する施設等を地方公共団体や公共的団体等が整備する場合			○
	②	民間事業者等(公共的団体等を除く)が所有し、かつ整備する施設等について、地方公共団体が整備費を補助する場合			
要件	地方自治法に基づく「公の施設」として位置付けられるか		有	「公の施設」としての 位置付け及び協定等 の締結の時期 (例)●年●月頃	2006年3月31日
	(「公の施設」として位置付けられない場合) 協定等の締結により中長期的・安定的な施設運営を担保されるか				
	「公の施設」として位置付けられない理由				
	協定等の内容		ふじの回廊は、豊田市が合併する前の旧藤岡町時代に策定された「第3次藤岡総合計画」(平成3年3月)に、主要プロジェクト構想の一つである「平成の森構想」の一環として整備された。現在は豊田市観光施設条例にて公の施設として設置されている。		

2. 事業計画期間及び施設の供用開始年度

施設整備等の事業計画期間 及び施設の供用開始年度	①事業計画期間(全体) ※その他の補助金等を用いて整備する部分も含めた全体期間								②事業計画期間(交付対象) ※拠点整備タイプの対象事業の実施期間								施設の 供用開始年度		
	2025	年	4	月	～	2043	年	3	月	2026	年	4	月	～	2029	年	3	月	2026年度
「①全体」と「②交付対象」 の期間が異なる理由 ※①と②の終了時期が異なる 場合のみ記載	ふじの計画的な移植(2042年度完了予定)や広報宣伝等、長期にわたる対応が必要な事業も含むため。 なお、①事業計画期間(全体)の始期が2025年4月となっている理由は次のとおり。拠点整備1年目の事業「城ヶ根山散策路整備」 は2か年にわたる整備を計画しており、2025年度実施を第1期工事、2026年度を第2期工事としている。然るに交付金を効果的に活 用するには、ソフト事業を行う2028年度を含め必要があるため、交付対象期間3か年の開始年度を2026年度とした。よって、2025年 度分の整備に関しては交付金の申請を見送ることとした。																		

3. 経費内訳

	2026年度 (1年目)	2027年度 (2年目)	2028年度 (3年目)	2029年度 (4年目)	2030年度 (5年目)	合計
交付対象事業経費【①】	79,239千円	3,000千円	13,000千円	0千円	0千円	95,239千円
交付対象事業における 建築物整備経費【②】	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
交付対象事業における 設備整備・用地造成等 経費【③】	78,251千円	0千円	10,000千円	0千円	0千円	88,251千円
交付対象事業における 備品整備経費【④】	988千円	3,000千円	3,000千円	0千円	0千円	6,988千円
交付対象事業における 効果促進事業(ソフト事業) 経費【⑤】	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
交付対象事業における 備品整備経費比率 【④/①】	1.3%	100.0%	23.1%	0.0%	0.0%	7.4%
全体事業費	79,239千円	15,770千円	35,000千円	0千円	0千円	130,009千円
(2-3)⑥に該当する 場合の全体事業費	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
(2-3)⑥に該当する 場合の交付対象事業費	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円

全事業期間における本年の位置付け		施設整備(前期)												
事業開始時期		事業終了時期		予算計上時期①		予算種別①	予算計上時期②		予算種別②	予算計上時期③		予算種別③		
2026 年 4 月		2027 年 3 月		2025 年 10 月		当初	年 月			年 月				
交付対象事業経費		79,239千円												
建築物整備経費	0千円		設備整備・用地造成等経費		78,251千円		備品経費		988千円		効果促進事業(ソフト事業)経費		0千円	
建築物整備の内容											要素事業数			
区分	整備内容の説明				金額(千円)		経費内訳							
					全体	対象								
小計					0		0							
設備整備・用地造成等の内容											要素事業数		1	
区分	整備内容の説明				金額(千円)		経費内訳							
					全体	対象								
設備整備	【施設名称】 駐車場(旧御作こども園) 城ヶ根山散策路 【整備内容】 ふじの回廊は、ふじの季節には慢性的な駐車場不足が発生しており、この問題を解決することが喫緊の課題である。 また、ふじの回廊の誘客促進のために、新たな散策路の設置など回廊全体の魅力向上が求められている。 ・駐車場整備(旧御作こども園) ・駐車場ロープ張り(旧御作こども園) ・城ヶ根山散策路整備				78,251		78,251		【駐車場整備】 70,211千円 (うち、交付対象事業経費 70,211千円) 【駐車場ロープ張り】 40千円 (うち、交付対象事業経費 40千円) 【城ヶ根山散策路整備】 8,000千円 (うち、交付対象事業経費 8,000千円) 合計 78,251千円 (うち、交付対象事業経費 78,251千円)					
									関連するKPI		①～⑥			
									(2-3)Bに該当する間接補助の場合は以下も記載 ※その他の補助金等を除いた金額					
									全体事業費					
									交付対象事業費					
小計					78,251		78,251							

備品整備の内容			要素事業数	1
備品整備の説明	金額(千円)		経費内訳	
	全体	対象		
【施設名称】 ふじの回廊駐車場	988	988	【ふじの回廊駐車場看板整備】 988千円 (うち、交付対象事業経費 988千円)	
【整備内容】 既存の看板は経年劣化により傷みが目立ち、見づらい状況になってしまっている。誘客促進のためには、来訪者にとってわかりやすいサインを整備する必要がある。			合計 988千円 (うち、交付対象事業経費 988千円)	
・ふじの回廊駐車場案内看板整備				
			関連するKPI	①～⑥
			(2-3)Bに該当する間接補助の場合は以下も記載 ※その他の補助金等を除いた金額	
			全体事業費	
			交付対象事業費	
小計	988	988		
効果促進事業(ソフト事業)の内容			要素事業数	
効果促進事業(ソフト事業)の説明	金額(千円)		経費内訳	
	全体	対象		
小計	0	0		

<2027年度(2年目)> ※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。

全事業期間における本年の位置付け		施設整備(中期)												
事業開始時期		事業終了時期		予算計上時期①		予算種別①	予算計上時期②		予算種別②	予算計上時期③		予算種別③		
2027 年 4 月		2028 年 3 月		2026 年 10 月		当初	年 月			年 月				
交付対象事業経費		3,000千円												
建築物整備経費		0千円		設備整備・用地造成等経費		0千円		備品経費		3,000千円		効果促進事業(ソフト事業)経費	0千円	
建築物整備の内容											要素事業数			
区分		整備内容の説明				金額(千円)		経費内訳						
						全体 対象								
		小計				0 0								
設備整備・用地造成等の内容											要素事業数			
区分		整備内容の説明				金額(千円)		経費内訳						
						全体 対象								
		小計				0 0								
備品の内容											要素事業数		1	
		備品整備の説明				金額(千円)		経費内訳						
						全体 対象								
		【施設名称】 ふじの回廊(犬伏川周辺) 【整備内容】 ふじの回廊を散策する来訪者が、散策の途中に気軽に休憩し自然を楽しむ場所が少ない。散策の途中に休憩出来る場所を設け、来訪者が自然景観を楽しめるとともに、体力的に無理なく散策できるよう配慮することがふじの回廊全体の魅力を向上することにつながる。 ・ベンチ設置				15,770 3,000		【ベンチ設置】3,000千円 (うち、交付対象事業経費 3,000千円) 合計 3,000千円 (うち、交付対象事業経費 3,000千円) ※対象外経費事業 ・(市一般財源)移動式モニュメント設置費 7,000千円 ・(市樹木資源保全基金)ふじの植替え 5,770千円 【総合計】 15,770千円						
								関連するKPI ①～⑥ (2-3)Bに該当する間接補助の場合は以下も記載 ※その他の補助金等を除いた金額						
								全体事業費						
								交付対象事業費						
		小計				15,770 3,000								
効果促進事業(ソフト事業)の内容											要素事業数			
		効果促進事業(ソフト事業)の説明				金額(千円)		経費内訳						
						全体 対象								
		小計				0 0								

全事業期間における本年の位置付け		施設整備(後期)										
事業開始時期		事業終了時期		予算計上時期①		予算種別①	予算計上時期②		予算種別②	予算計上時期③		予算種別③
2028 年 4 月		2029 年 3 月		2028 年 10 月		当初	年 月			年 月		
交付対象事業経費		13,000千円										
建築物整備経費	0千円	設備整備・用地造成等経費		10,000千円		備品経費		3,000千円		効果促進事業(ソフト事業)経費		0千円
建築物整備の内容										要素事業数		
区分	整備内容の説明			金額(千円)		経費内訳						
				全体	対象							
小計				0	0							
設備整備・用地造成等の内容										要素事業数		1
区分	整備内容の説明			金額(千円)		経費内訳						
				全体	対象							
設備整備	【施設名称】 ふじの回廊(日沢洞川東側エリア)			32,000	10,000	【動物防護柵設置】 10,000千円 (うち、交付対象事業経費 10,000千円)						
	【整備内容】 ふじの回廊において、主役である「ふじ」がイノシシ等の動物から攻撃を受けやすいエリアがあり、これを守っていく必要が生じている。					合計 10,000千円 (うち、交付対象事業経費 10,000千円)						
	・動物防護柵設置					※対象外経費事業 ・(市一般財源)シンボルツリー植樹 7,000千円 ・(県あいち森と緑づくり事業)秋の小径整備 15,000千円						
						【総合計】 32,000千円						
						関連するKPI ①～⑥ (2-3)Bに該当する間接補助の場合は以下も記載 ※その他の補助金等を除いた金額 全体事業費 交付対象事業費						
小計				32,000	10,000							

備品の内容			要素事業数	1
備品整備の説明	金額(千円)		経費内訳	
	全体	対象		
【施設名称】 秋の小径 【整備内容】 ふじの回廊魅力向上のため新たに「秋の小径」を整備するに際し、散策する来訪者が散策の途中に休憩出来る場所を設け、自然景観を楽しめるとともに、体力的に無理なく散策できるよう配慮することがふじの回廊全体の魅力を向上することにつながる。 ・ベンチ設置	3,000	3,000	【ベンチ設置】 3,000千円 (うち、交付対象事業経費 3,000千円) 合計 3,000千円 (うち、交付対象事業経費 3,000千円)	
			関連するKPI	①～⑥
			(2-3)Bに該当する間接補助の場合は以下も記載 ※その他の補助金等を除いた金額	
			全体事業費	
			交付対象事業費	
小計	3,000	3,000		
効果促進事業(ソフト事業)の内容			要素事業数	
効果促進事業(ソフト事業)の説明	金額(千円)		経費内訳	
	全体	対象		
小計	0	0		